

視察してきました！

青森県田子町行政視察 (9/30 ~ 10/1)

4年ぶりに田子町へ

議員5名（議長、副議長、文教産業建設常任委員長、総務厚生常任委員長・副委員長）で田子町を訪問しました。澤口議長をはじめ議員の方々の熱い歓迎を受け、お互いに町の現状や課題について意見交換した後、令和4年4月に町の玄関口となる場所にオープンした文化観光交流施設「みろく館」を視察しました。「明治から令和の現在まで懐かしい記憶がよみがえる」をテーマに江戸末期の代表的農家を改修した古民家は、旅行者への魅力発信だけではなく、地域住民もふらっと立ち寄りたくなるような居場所づくりを目的とした、魅力ある素敵な施設でした。

翌日は、冬季にはスキー場として利用される場所で開催



田子町議会議場にて記念撮影

された、田子町最大規模のイベント「にんにくとべご祭り」を見学しました。多くのボランティアの方々協力のもと、地域の方も観光客も役場職員も一丸となって町を盛り上げている様子に感銘を受けました。（副議長 菅澤環）

議員視察研修 (11/15 ~ 17)

先進事例に学ぶ

議員9名で福岡県「うきは市」と「みやま市」の2市を視察しました。

うきは市では、現在国が力を入れて推し進めている行政のデジタル化を目指して、県と市の補助金を活用して商工会が発行するプレミアム商品券の電子チケット化について説明を受けました。デジタル化への移行は、高齢者対策をはじめ、商工会と市の連携による段階を踏んだ取り組みによって、令和5年度は100%の電子化を予定しているとのこと、市の将来を見据えた取り組みだと感じました。

みやま市では、廃校となった小学校を利活用したバイオマス施設「ルフラン」を見学しました。既存のゴミ処理施設

やし尿処理施設の老朽化による更新が迫る中、コスト面や環境負荷などを総合的に検討した結果、当該施設の建設に至ったとのこと。各家庭の生ゴミとし尿を回収し、施設で分解発酵させて発生したメタンガスは施設の電力として使われ、発酵後の液体は液肥として農家に無償提供されています。学習室はカフェや子ども食堂などとして利用されており、調理室には業務用のオープンが設置され、商品加工の場として提供されるなど、廃校の有効活用のお手本だと感じました。（副議長 菅澤環）



「ルフラン」メタン発酵槽前で



第4回定例会の
傍聴者数は
延べ23名でした

傍聴手続きは
簡単です

議場前に設置してある受付票に必要事項をご記入いただき、傍聴札を携帯すれば、傍聴席にお入りいただけます。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、ご遠慮いただく場合があります。（多古町議会傍聴規則をご確認ください）



←多古町議会
録画中継はこちらから

インターネットで録画中継も行っています

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継

3月定例会は、3月7日(火)から開会予定です。